



もとみや

# 議会だより

第65号

令和3年4月発行

あいさつから始めよう!  
(本宮第一中学校)



新年度予算審査.....P.2~5  
一般質問11名が登壇 .....P.13~19

本宮市議会 ホームページアドレス <http://www.city.motomiya.lg.jp/site/gikai/>  
メールアドレス [gikai@city.motomiya.lg.jp](mailto:gikai@city.motomiya.lg.jp)

# 千8百万円



市民一人当たり  
約 50 万円

※ R3.4.1 の人口 30,167 人

## 土木費 19億9,543万円

市民一人当たり 6万6,146円



道路整備・駅前整備に

## 民生費 40億9,542万円

市民一人当たり 13万5,758円



子ども・高齢者福祉に

教育費 17億4,689万円  
市民一人当たり 5万7,907円  
学校教育や国際交流に

総務費 16億2,619万円  
市民一人当たり 5万3,906円  
職員給与や定住対策に

公債費 10億6,481万円  
市民一人当たり 3万5,297円  
借り入れ金返済に

災害復旧費 7億5,025万円  
市民一人当たり 2万4,870円  
災害からの復旧に

消防費 5億8,327万円  
市民一人当たり 1万9,335円  
消防・防災対策に

商工費 3億4,309万円  
市民一人当たり 1万1,373円  
商工業・観光振興に

農林水産業費 3億916万円  
市民一人当たり 1万248円  
農林業の振興に

議会費 1億8,581万円  
市民一人当たり 6,159円  
議員報酬・議会運営に

労働費・予備費等 8,656万円  
市民一人当たり 2,869円

## 衛生費 22億7,112万円

市民一人当たり 7万5,284円



健康増進や環境整備・新型コロナウイルス感染症対策に

令和3年度  
予算

# 一般会計 150億5

「心をひとつに 笑顔あふれる  
元気なまち もとみや」を目指します！



## 予算編成方針

令和3年度の市政運営にあたっては、市内外から住みたいまちと認知されるよう、災害対策や子育て施設・環境の充実、地域公共交通再編など、様々な施策を横断的に展開するとしています。

今後「人口の減らないまち」と「活力ある地域」を目指し、本市の明るさと元気を市民の皆様と共に創出するとし、重点的に取り組む施策として次のものを挙げました。

- ・ 令和元年東日本台風からの災害復旧
- ・ 子育て・結婚の総合的支援の充実
- ・ 健やかな体の育成
- ・ 読書環境の推進
- ・ スポーツ振興・活動の推進
- ・ 健康づくり・管理の推進
- ・ 高齢者の活躍推進・総合支援
- ・ 農業の振興
- ・ 商業・工業の振興
- ・ 環境負荷の低減・ごみの減量化
- ・ 道路ネットワークの整備・管理
- ・ 公園・景観・緑地等の保全・利活用
- ・ 市民活動・協働の推進
- ・ 都市・地域等交流の推進

これらの施策を推進し、今後とも新たな財政運営計画のもと行政改革に取り組むとともに、「笑顔あふれる人と地域が輝くまち」を目指し、市民サービスの維持向上に取り組むとしています。

# 予算審査質疑 ピックアップ

総務費

## 電気自動車の台数は

**問** 現在、市で管理している電気自動車は何台あるのか。今後はすべて電気自動車にする考えなのか。

**答** 現在2台所有している。年次計画で毎年複数台の更新を計画しており、今年度より電気自動車をメインに更新を行う計画を持っている。今後は基本的に電気自動車とするが、現在、市の利用目的に合った仕様の電気自動車がない場合もある。そのため、市で必要な車を揃えつつゼロカーボン社会への貢献のため、電気自動車への買い替えを進めていく。

衛生費

## 太陽光パネル設置補助の内容は

**問** 太陽光設置費補助金が昨年より増額されているが、これは住宅の屋根に設置するものに対してなのか。また、その容量はすべて賄えるものなのか。

**答** 過去5か年の平均申請数をもとに計上した。パネルに関しては、すべて一般家庭の屋根に設置したものであり、補助するのは4キロワット相当までのパネルに対し、1キロワットあたり2万円を補助するものである。1人当たり1キロワット必要とされているので、4人家族までは賄える容量と考えている。



▲今後、電気自動車への更新が進められる

### 各会計予算額

一般会計	150億 5,800万円
国民健康保険 特別会計	26億 7,823万円 (事業勘定) 9,678万円 (直営診療施設勘定)
後期高齢者医療特別会計	3億 1,221万円
介護保険特別会計	27億 4,420万円
工業用地造成事業特別会計	1億 2,651万円
工業用地資産運用事業特別会計	1億 1,462万円
水道事業会計	18億 2,541万円
公共下水道事業会計	12億 4,512万円
総計	242億 108万円

### 一般会計の歳入内訳

市税	42億 5,025万円
地方交付税	27億 2,096万円
県支出金	26億 5,207万円
市債	17億 1,670万円
国庫支出金	15億 3,833万円
地方消費税交付金	6億 6,762万円
繰入金	6億 4,378万円
繰越金	1億 5,000万円
使用料及び手数料	1億 4,542万円
その他(譲与税等)	5億 7,287万円
総計	150億 5,800万円

## 本宮烏骨鶏の支援内容は

**問** 本宮烏骨鶏は飼料代や人件費を補助していたが令和3年度も同様に続けるのか。

**答** エサ代や電気代、機器のレンタル料などの運営費の3割程度である270万円を補助する。3か年を目標に支援している。令和2年度はコロナの影響で活動が難しい中で独自商品の試作を行っていた。また、独自のクラウドファンディングを行い、屋根の修繕やゲージ飼いから平飼いへの変更などを行い、経営改善へ向け努力している。令和5年度には自立できるよう体制づくりをしていく。



▲自立できるよう支援を続ける

## 教育費

### 各学校の電子黒板の台数は

**問** 各学校に電子黒板を購入すると説明があったが、現在、各学校に何台の電子黒板が配置されているのか。また、今後何台の電子黒板を各学校に配置していく予定なのか。

**答** 現在、各学校に2台の電子黒板を配置しているが、1台は古いため使用が困難な状態である。令和3年度は小学校に各学校1台、中学校には各学年に1台配置予定。今後の使用状況により、今後全部で何台必要なのか計画を練っていききたい。



▲ICT教育を推進していく

## 市長への総括質疑

### 市長三期目折り返し、予算編成にかけた思いは

**問** 市長の三期目の半分が経過した。令和元年東日本台風からの復旧、令和2年新型コロナウィルスによる感染症の対策、令和3年2月13日福島県沖で発生した地震による災害対応と様々な災害が発生し、思い描いた施策が実現できなかった点も多かったと思われるが、それをカバーすべく来年度に向けての予算編成にかけた思いは。

**答** 駅舎自由通路、合併支援道路が令和3年度完成予定となっている。いいスタートができたまゆみちゃんプロジェクトや、得得キャンペーンをどのような形で平時に回していくかなど考えることはたくさんある。良い機会をいただいたので、どのようにして今の雰囲気をつけていけるかを年度途中でも進めていかなければならない。

### 恵向公園復旧の計画は

**問** 恵向公園については工業団地の造成のなか設置された公園であるが、利用者が少なかったという現状がある。今回、復旧にあたって多くの市民の皆様が利用できるような残すところは残すという形で設計を組んで、整備していくべきでは。

**答** 広大な土地があり、芝生もあり、トイレもあり、有効利用できる土台はできている。多くの方が体づくりをしたり、人と人との輪をつくるため、どのような形で手を加えれば楽しんでいただけるかという公園構想を練っていければと思っている。具体的な案はこれから出していきたい。

### 令和3年度予算の抱負は

**問** 市民が期待をしていたサンライズもとみや、中央公民館の再オープンが間近に迫っている。さらに駅舎の問題についても形ができて骨格が見えてきた。このようなものが、令和3年度に一举にできると思う。そのような中で令和3年度の予算における、市長の抱負は。

**答** 今後、河川の改修などで景色が変わっていく中で川にいかにか親しみながら市街地をにぎやかにしていけるか考えている。本宮は川と一緒に歩んできた歴史があり、そこに宿場町が形成され賑わいを創出してきた。この本宮の歴史を思い、先人の思いをなくすことなく形を変え、どう作っていくかというのが我々の仕事である。

# 各会計予算など 44 議案を可決

## 3月 定例会

3月定例会（第1回本宮市議会定例会）は、諮問1件と条例の制定や各会計予算など41議案、報告4件、議員発議3件が提出され、採決を行った結果、すべての議案を原案どおり可決しました。

また、陳情1件が提出され、採択と決定しました。

令和3年度の各会計予算については、予算審査特別委員会を設置し、4日間にわたって集中審議を行いました。詳細は2ページから5ページに掲載のとおりです。

### 一般会計補正予算(第16号)

**食べて得クーポン券  
発行委託料などを増額**

今議会に提出された令和2年度一般会計補正予算(第16号)の主なものは、歳出では、国の3次補正予算に伴う経費として、赤木・狐森線整備事業にかかる用地購入費及び物件補償費や都市公園施設長寿命化事業にかかる工事監理業務委託料及び本宮運動公園施設更新工事費、新型コロナウイルス感染症対策事業として進めている食べて得クーポン券の発行業務委託料の増額、令和3年度に予定していた千束橋及びふれあい橋の修繕調査を前倒しで行うための調査設計委託料などが計上されました。

また、歳入では国の3次補正及び決算見込みによる市税、地方譲与税、各種交付金、地方交付金、国・県支出金、繰入金、市債などの増減が計上されています。

### 議案質疑

**中小企業等応援補助金減額の理由は**

**問** 新しい生活様式に取り組む中小企業等応援補助金の額が、1400万円と大幅な減になっているが、この大幅な減の理由は。

**答** 小売業、宿泊飲食サービス業、生活関連サービス業を応援するということで行っており、当初、430の事業所を想定していたが、今までの申請事業者数が約150件であり、減額となった。

#### 《補正予算の主な内訳(第16号)》

<b>歳出</b>	
財政調整基金積立金	… 2億8,337万円
赤木・狐森線物件補償費	… 1億5,721万円
公園施設更新工事費	… 1億1,569万円
<b>歳入</b>	
過半数単独厚生労働施設災害復旧事業債	… 9,770万円
地方道路等整備事業債	… 7,800万円



令和2年度

一般会計総額

244億3,663万円に

▲修繕調査を行う千束橋

一般会計補正予算(17号)  
(追加議案)

食べて得得クーポン券発行委託料、福島県沖地震被害を受けた公  
共施設の応急復旧費を増額

今議会に追加議案として提出された令和2年度一般会計補正予算(第17号)は、「食べて得得キャンペーン事業」の利用者の更なる増加が見込まれることからクーポン券発行委託料の再度の増額、2月13日発生の福島県沖地震の被害を受けた公共施設の応急復旧にかかる経費の財源調整並びに予備費の減額についてそれぞれ歳入歳出予算の補正を行うものです。

「福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書」を提出

日本労働組合総連合会福島県連合会二本松・安達地区連合から提出された「福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出の陳情書」については、採択となり、内閣総理大臣等に対し、意見書を提出することとしました。

人事

今定例会では、市長から人権擁護委員の推薦について諮問があり、人権擁護委員法に基づき、次の方を法務大臣に推薦することに全会一致で同意しました。

人権擁護委員(再任)

國分 進 氏

(白岩字宮ノ下)

また、任期満了に伴う教育長及び教育委員会委員の任命についての議案が上程され、全会一致で同意しました。

教育長(新任)

松井 義孝 氏

(本宮字葎ヶ入)

教育委員会委員(再任)

谷 明子 氏

(本宮字南町裡)

## 総務文教常任委員会

総務文教常任委員会には、専決処分の承認を求めることについて（第3号）ほか議案6件が付託されました。  
主な審査内容は、次のとおりです。



▲本宮第2保育所の現地調査の様子

**説明** 放射性廃棄物の仮置場設置事業のために賃貸借契約を締結した土地の固定資産税を減免している。事業完了に伴う土地賃貸借契約解除後、所有者の意向により原形復旧せず土地利用計画が定まらない固定資産税について最長3年間減免する。

**問** 3年間土地利用計画が定まらない場合、毎年意向確認が必要ではないか。

**答** お世話になった土地であるため、返還時に十分な説明を行うとともに、毎年地権者に連絡し、現況確認を行いながら減免の対応を進める。

本宮市税条例の一部を改正

**現地調査** 本宮第2保育所工事現場及び仁井田地区体育館耐震補強改修工事現場の現地調査を行った。

**説明** 中央公民館図書室について、図書館法に基づく図書室として機能強化を図るため、条例を改正する。

**問** 中央公民館図書室の機能強化の内容とは。

**答** 図書館法で規定される図書資料のコピーサービス、DVDの貸出などが可能となるほか、福島県立図書館など各図書館との相互貸借が可能となる。

本宮市立図書館条例の一部を改正

## 生活福祉常任委員会

生活福祉常任委員会には、公の施設に係る指定管理者の指定について（第20号）ほか8件の議案が付託されました。  
主な審査内容は、次のとおりです。



▲仮置場の現地調査の様子

**説明** 地方自治法第244条の2第6項の規定により、公の施設（集会所）の指定管理者の指定について、定める。

**問** 指定管理者の指定を受けている集会所の修繕時の取り扱い。

**答** 公の施設は、専ら集会所として、行政区において使用される建物であるため、他の集会所と同様に行政区が修繕を行い、市は2分の1の補助を行うこととしている。

公の施設に係る指定管理者の指定について

**説明** 令和3年2月13日に発生した福島県沖地震の影響に係る施設の修繕を行う。

**問** 地震による保健福祉施設における市民サービスへの影響は。

**答** えぼかは地震翌日に1日休館、あだたら憩の家は漏水被害があったが、現在は市民サービスに影響はなく、保健福祉施設全て、通常どおり運営を行っている。

**現地調査** 仁井田（瀬戸川）仮置場及び岩根地区（上川原）仮置場の現地調査を実施した。

一般会計補正予算

## 産業建設常任委員会



▲市道富士内・上沢線の現地調査の様子

産業建設常任委員会には、専決処分の承認を求めることについて（第2号）ほか議案6件が付託されました。主な審議内容は、次のとおりです。

本宮市岳山ふれあい実習館条例の一部を改正

**説明** 施設付属設備であるテントデッキの撤去に伴い、改正を行うものである。

**問** 施設は老朽化する一方であるが、今後は利用方針は。

**答** 令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、利用者数は減少しているが今後は老朽化施設の維持修繕を行いながら、利用促進に努めていく。

本宮市下水道条例の一部を改正する条例制定について

**説明** 連帯保証人承諾書の添付要件を削除することで指定店の登録を促進し、市民の選択の幅を増やすことを目的として改正を行うものである。

**問** 下水道排水設備工事指定店の登録件数と新規登録の希望件数は。

**答** 現在、指定店登録は70社程度となっており、令和2年度の新規登録の問い合わせ件数は2件であった。下水道事業の円滑な運営に不可欠な指定店の新規登録の促進を図っていく。

### 現地調査

2月13日に発生した地震により被害を受けた、市道富士内・上沢線の現地調査を行った。

## 議員定数等に関する特別委員会

「議員のなり手不足」や「議員定数」について、市民の声を反映し、議会として最適な選択の参考とさせていただくため、3月4日に市内各種団体代表の皆さまと意見交換会を開催しました。いただいた意見は次のとおりです。

市議会議員のなり手不足について

全国各地で地方議員のなり手不足が問題となっています。本市においても同様で前回（令和元年7月）の市議会議員選挙は無投票となりました。

◆近年の核家族化により社会全体の環境が変化している。自分の生活を守るのが精一杯で市政に関心ない。

◆議員報酬だけでは生活の保障が全くない。若い世代でも生活できる安定した報酬と社会保障が必要。

◆国会議員の不祥事など政治に対して不信感を抱くことが多く、政治に無関心。

◆議員の活動状況を発信する方法を工夫すれば議会活動に興味を持つ方がいる。

◆女性を対象とした意見交換会などを開催し、女性の意見を発信する場が多くあれば、女性が政治に関心を持つきっかけになる。

◆議員と会社員を両立するには会社の後押しが必要。会社員でも議員になれる環境を整わないと難しい。

◆議員になる志があってもハードルは高く、後援会などの組織がないと立候補できない。

市議会議員の定数について

本市の議員定数は平成27年の選挙から現在の20名（24名から減）となっています。

◆定数削減よりも議員の資質・能力の向上を望む。市民の代表として市民に寄り添った議員であってほしい。

◆少数精鋭で定数削減した分、議員報酬を上げ、より良い人材が集まればよいが、現状では定数維持。

◆合併以降、定数削減で地域の声が届かなくなっているため定数は現状維持。

◆18人ぐらいに定数削減し、削減した分の報酬を上げれば議員の魅力が高まるのではないかと。



▲意見交換会の様子

# 本会議での討論

3月18日の本会議で、議案第29号について討論がありました。主な内容は次のとおりです。  
 なお、議案の賛否一覽は12ページに掲載しています。

**議案第29号**  
**令和3年度本宮市一般会計予算**  
 令和3年度の一般会計予算です。予算の概要については、2ページから3ページに掲載しています。

## 反対討論

**渡辺忠夫 議員**

コロナ対策で、ワクチンはコロナの収束に向けた有力な手段だが、社会全体で効果が表れるには一定の時間を要するとされており、PCR等の検査を抜本的に拡充することが急務である。自治体任せの今の体制ではなく、国の責任で進めるよう求めながら実施すべきである。

少子高齢化対策として、人口の減らない自治体を目指すのなら、人口の増えている自治体から学ぶべきである。出産祝い金や、保育料の無償化、学校給食の助成など、産み育てる環境が良いことを参考にすべきである。

農業対策について、政府は、経営規模の拡大、生産の機械化・効率化、法人化を図る者だけを支援する政策を続けてきた。そのため、小規模、家族農業が切り捨てられ生産基盤を致命的に損なう結果となっている。今、農業をしている人達が、農業を継続するために何が必要なのかの対策を取るべきであり、市独自の農業持続化給付金制度でも作るべきではないか。

情報通信事業では、行政のデジタル化を進め、システムの標準化、官民の情報連携、マイナンバー制度の活用を行うとして、予算は、公共サービスを含めた様々なサービスが受けられない状況を作り出して実質的にカード取得を強制するもので納得できない。

市の歴史民俗資料館に正職員をここ何年も配置していないことは問題である。市の文化戦略に大きく影響するものであり、当時の歴史を研究し、住民、市民に共有するような仕事にし、市の良さを発信するためにも大変重要なものである。定住促進を推進するためにも、受けの体制ではなく、内発型の良さを売り出すことが求められている。

## 賛成討論

**斎藤雅彦 議員**

令和3年度は5か年計画である第二次総合計画前期基本計画の3年目、折り返しの年となる。今後も人口の減らない自治体と活気あふれる地域を目指すとともに「心をひとつに 笑顔あふれる 元気なまちもとみや」をスローガンに各種施策が展開される。

新型コロナウイルス感染症の対策については、早急なワクチン接種に向け、副市長をトップとした専門チームなどの体制を整備して市民の皆様へワクチン接種のスケジュールやプログラムを分かりやすく伝えることで一日も早いワクチン接種実施のため、職員一丸となって取り組むとしている。

子育て支援では、母親クラブや子ども食堂の円滑な事業運営に必要な経費の一部を助成する経費やギガスクール構想の推進などが計上されている。給食費の無償化ではなく、保育所・幼稚園、遊び場、小学校、中学校などの環境を整え、総合的な支援の充実により子育て世代の負担軽減を図るとしている。

農業支援対策については、認定農業者育成支援事業の運用基準を見直し、安定経営に繋げるとともに、若手農業者団体の育成は大変重要と考える。各種補助事業により農業の振興が図られるものと期待する。

文化政策について、歴史民俗資料館は、令和元年東日本台風からの復旧作業が今なお続いているが、令和3年度からは職員体制を強化し、復旧作業さらには本来の資料館機能が充実される。また、4月から再開される中央公民館やサンライズもとみやとともに本市の文化交流の拠点として期待され、本市の発展に繋がるものと考えている。

## 議決結果一覧表

議案番号	議案名	議決結果
諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	同意
議案第1号	専決処分の承認を求めることについて (専決第1号 令和2年度本宮市一般会計補正予算(第13号))	承認
議案第2号	専決処分の承認を求めることについて (専決第3号 令和2年度本宮市一般会計補正予算(第14号))	承認
議案第3号	専決処分の承認を求めることについて (専決第4号 令和2年度本宮市一般会計補正予算(第15号))	承認
議案第4号	本宮市債権管理条例制定について	原案可決確定
議案第5号	本宮市職員の分限に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決確定
議案第6号	本宮市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決確定
議案第7号	本宮市税条例の一部を改正する条例制定について	原案可決確定
議案第8号	本宮市立図書館条例の一部を改正する条例制定について	原案可決確定
議案第9号	本宮市介護保険条例の一部を改正する条例制定について	原案可決確定
議案第10号	本宮市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	原案可決確定
議案第11号	本宮市指定介護予防支援事業者の指定に関し必要な事項並びに指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	原案可決確定
議案第12号	本宮市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	原案可決確定
議案第13号	本宮市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	原案可決確定
議案第14号	本宮市岳山ふれあい実習館条例の一部を改正する条例制定について	原案可決確定
議案第15号	本宮市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決確定
議案第16号	本宮市下水道条例の一部を改正する条例制定について	原案可決確定
議案第17号	本宮市放射能除染・モニタリングセンター条例を廃止する条例制定について	原案可決確定
議案第18号	市道路線の廃止について	原案可決確定
議案第19号	市道路線の認定について	原案可決確定
議案第20号	公の施設に係る指定管理者の指定について	原案可決確定
議案第21号	本宮市2050ゼロカーボンシティ宣言について	原案可決確定
議案第22号	令和2年度本宮市一般会計補正予算(第16号)	原案可決確定
議案第23号	令和2年度本宮市国民健康保険特別会計補正予算(第5号)	原案可決確定
議案第24号	令和2年度本宮市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	原案可決確定
議案第25号	令和2年度本宮市介護保険特別会計補正予算(第5号)	原案可決確定
議案第26号	令和2年度本宮市工業用地造成事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決確定
議案第27号	令和2年度本宮市水道事業会計補正予算(第5号)	原案可決確定
議案第28号	令和2年度本宮市公共下水道事業会計補正予算(第6号)	原案可決確定
議案第29号	令和3年度本宮市一般会計予算	原案可決確定
議案第30号	令和3年度本宮市国民健康保険特別会計予算	原案可決確定
議案第31号	令和3年度本宮市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決確定
議案第32号	令和3年度本宮市介護保険特別会計予算	原案可決確定
議案第33号	令和3年度本宮市工業用地造成事業特別会計予算	原案可決確定
議案第34号	令和3年度本宮市工業用地資産運用事業特別会計予算	原案可決確定
議案第35号	令和3年度本宮市水道事業会計予算	原案可決確定
議案第36号	令和3年度本宮市公共下水道事業会計予算	原案可決確定
議案第37号	教育長の任命について	同意
議案第38号	教育委員会委員の任命について	同意
議案第39号	令和2年度本宮市一般会計補正予算(第17号)	原案可決確定
議案第40号	令和3年度本宮市一般会計補正予算(第1号)	原案可決確定
議案第41号	令和3年度本宮市水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決確定

## 議決結果一覧表

議案番号	議案名	議決結果
報告第1号	本宮市自主的財政健全化計画の令和元年度実施状況について	
報告第2号	専決処分の報告について (専決第2号 中央公民館・サンライズもとみや災害復旧工事(建築主体工事)請負契約の一部を変更する契約について)	
報告第3号	専決処分の報告について (専決第5号 荒井地区体育館耐震補強改修工事(建築主体工事)請負契約の一部を変更する契約について)	
報告第4号	専決処分の報告について (専決第6号 仁井田地区体育館耐震補強改修工事(建築主体工事)請負契約の一部を変更する契約について)	
発議第1号	本宮市議会委員会条例の一部を改正する条例制定について	原案可決確定
発議第2号	本宮市議会会議規則の一部を改正する規則制定について	原案可決確定
発議第3号	福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書	原案可決確定
	閉会中継続調査申出書(議会運営委員会)	決 定
	閉会中継続調査申出書(各常任委員会)	決 定

## 陳情一覧表

受理番号	受理年月日	付託委員会	件名	提出者の氏名	審議結果
陳情第1号	令和3年2月16日	省略	福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出の陳情書	日本労働組合総連合会 福島県連合会 二本松・安達地区連合 議長 高橋 誉	採 択

## 3月定例会賛否一覧

これら以外の議案等は11、12ページのとおり全会一致で可決されています。

会派名	みらい創和会				新風会				志誠会			共	無所属							
議員名	円谷	石橋	磯松	渡辺	三瓶	川名	斎藤	根本	橋本	菊田	遠藤	渡辺	馬場	三瓶	菅野	渡辺	渡辺	伊藤	作田	国分
議案番号	長作	今朝夫	俊彦	由紀雄	裕司	順子	雅彦	利信	善壽	広嗣	初美	忠夫	亨守	幹夫	健治	秀雄	善元	隆一	博	勝広
議案第29号	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	疾

※○は賛成 ●は反対 欠は欠席 議長(渡辺由紀雄)は採決には加わらない

※会派名の略称は以下のとおり 共…日本共産党

※疾…疾病による欠席

# 一般質問

# 市政を問う

今定例会では新型コロナウイルス感染症対策として、一般質問において会派所属議員は各会派から2名程度の質問とし、質問者は自席で質問を行いました。

3月定例会の一般質問は、11名の議員が登壇し、3日間にわたって行われました。

1議員2題、内容を要約してお伝えします。

## 14ページ：

### ■菊田広嗣 議員

- コロナで学習が遅延したが現状はICT導入による利便性向上は
- 作田 博 議員
- コロナウイルスの対策について
- 公共施設等総合管理計画について

## 15ページ：

### ■齋藤雅彦 議員

- 県の住民避難行動調査で明らかに
- コロナワクチン接種の優先順位は
- 三瓶幹夫 議員
- 害虫駆除対応策は
- 消防団の現状について

## 16ページ：

### ■菅野健治 議員

- 柳内14号線の拡幅について
- 人事異動アンケートについて
- 石橋今朝夫 議員
- 青色申告と収入保険加入の周知は
- 米価の安定に向けて

## 17ページ：

### ■円谷長作 議員

- ごみの減量化に向けて
- 中心市街地の活性化策は
- 遠藤初実 議員
- 食育指導の食アレルギー対応は
- 食育指導の中の朝食について

## 18ページ：

### ■馬場亨守 議員

- 新本宮駅建設費について
- 10年後の財政計画について
- 渡辺忠夫 議員
- 持続化給付金の確認文書の意図は
- 農耕用運転免許証取得に補助を

## 19ページ：

### ■三瓶裕司 議員

- 商工業が持続していける支援策は
- 台風被害による空き地の対策は



▲早急なワクチン接種を



**問** コロナで学習が遅延したが現状は  
**答** 現在は学習の遅れは特にならない

菊田 広嗣  
議員  
(志誠会)

**問** 去年の一般質問で新型コロナウイルスにより失われた学習機会をどのように取り戻すか質問したが現状は。  
**答** また、2020年度はプログラミング教育や英語教育を本格的に導入した年であったが、新型コロナウイルスの影響で内容に変更・遅延はなかったか。

**答** 夏休みを短縮し、生徒に負担がかからない程度で授業時数を増やした。また、臨時休校中にワークブックを配布し活用したこともあり、現在は遅れは特にならない。プログラミング教育、英語教育でも新型コロナウイルスの影響による変更・遅延はない。

**問** ICT導入による利便性向上は  
**答** 他自治体を調査し検討を進める

**問** ICT導入による市民の利便性向上について、他自治体では公金収納の際、キャッシュレス決済・バーコード読み取り払い等が導入されているところもあるが、現在本市で行っている公金収納サービスはどのようなになっているのか。  
**答** 本市の市税等のキャッシュレス決済は口座振替のみ。また、納付者の利便性向上のためにコンビニ決済を導入してきた。キャッシュレス決済等が普及している状況や現状を踏まえ、更なる利便性・収納率向上のため、調査検討を進めていく。

**その他の質問**

- ・リモートワーク加速による移住者へのPRは
- ・ICT・テレワークによる業務の効率化は



▲ICT利活用で利便性向上を



**問** コロナウイルスの対策について  
**答** チーム編成は副市長をトップに

作田 博  
議員  
(無所属)

**問** ワクチン接種の体制づくりについてプロジェクトチームは設置されているのか。ぜひとも強力なプロジェクトチームを作っていたらいいと思うが、いつ頃予定されているのか。

**答** 副市長をトップとして早急につくり上げていく。安達医師会の皆様方の協力を得て進めるが実施機関はあくまでも自治体であり整合性を取っていく。確定ではないが、個別接種と集団接種のハイブリット型を考えている。

**問** 公共施設等総合管理計画について  
**答** 40年間における維持管理試算

**問** 維持管理、更新等に係る中長期的経費の見込みと現状は。

**答** 維持・修繕・更新等に係る経費が約39億円、年間にかかる試算である。具体的な事業計画等については個別計画を6月までに策定したい。全体的にこの計画の実行については全庁挙げて今後取り組んでいきたい。

**その他の質問**

- ・経済対策・食べて得得キャンペーン事業の継続
- ・財政運営計画について



▲水害後設置された危機管理水位計



## 問 県の住民避難行動調査で明らかに

### 答 平時から防災意識の向上を

**問** 河川の氾濫が予想される場合、日中に避難を開始する切迫感のある情報伝達、消防車のサイレンによる緊急性の伝達や広報車による対面での避難の呼びかけなど多様な手段が安全で早い避難につながる。次の災害に備えて、市の取組は。

**答** 親戚や知人宅への分散避難などを事前に決めておくマイ避難の推進、自主防災組織での情報交換や避難誘導、早めの避難を促す効率的な情報発信など避難体制の強化を図り、情報を伝える行政側と情報を受け取る市民との意識の共有を図る。

齋藤 雅彦  
議員  
(新風会)

## 問 コロナワクチン接種の優先順位は

### 答 国のワクチン供給量と時期が不明

**問** 市民への新型コロナウイルスワクチン接種の優先順位とそれぞれの人数はどのくらいを想定しているのか。

**答** 現段階の予定は、まず医療従事者約6000人、次に65歳以上の8500人、次に基礎疾患のある約19000人、次に高齢施設の従事者230人、その後60歳から64歳の方になり、それ以外の方は供給量を踏まえて順次接種を進める。

## その他の質問

- ・RPAのメリットや効率化される業務の効果は
- ・待機児童ゼロに向けた市の新たな取り組みは



## 問 害虫駆除対応策は

### 答 薬剤散布を依頼し実施している

三瓶 幹夫  
議員  
(無所属)

**問** 仁井田・白岩線、高松げんき桜街道と名付けられ、平成大橋から光ヶ丘団地を結ぶ道路に200本の桜が植栽されている。

旧白沢出身の関東在住の東京白沢会の皆様が、地域の発展を願い寄贈された桜。

害虫被害が拡大しているが対策は。

**答** 高松げんき桜街道は、19年が経過した。害虫被害も見られ、生育状況にもばらつきがある。

薬剤散布と同時期に肥料の施肥を行っており、定期的な枝の選定に気を配り、交通安全を図っている。

巡回時に観察し、対応策を行う。

## 問 市の消防団の現状について

### 答 国・県の動向を注視し対応

**問** 団員の高齢化や、なりて不足等、県内の消防団員確保に苦慮している。消防団員の待遇改善を検討との新聞報道もある。一般団員の年間報酬があまりにも低い。報酬や手当を引き上げることが団員の確保の有効策ではと考えるが対応は。

**答** 消防団の団員確保に苦慮している。541名の定数に対し1割の54名が転勤や交代勤務などの活動に参加できない。総務省で、消防団員の処遇等に関する検討会が行われている。団員の確保に向けて消防団と連携して推進していく。

## その他の質問

- ・消防団OB「協力員」について
- ・火災発生行政無線放送について



▲害虫駆除対策の徹底を



▲収入保険加入の周知を

**問** 主食用米の生産数量目安が公表され、前年度の作付面積を下回り減少幅は最大規模となった。米価の安定に向けて、生産者に対し、本市では、主食用米以外への取組の周知と、どの程度の面積が飼料用米に取り組まれていると考えているのか。

**答** 飼料用米を推奨し、米価の安定と農家の方々の収入を確保する。飼料用米は補助金収入のため、収穫前からある程度の金額が確保されており、飼料用米への転換推進を周知する。目標面積は、104haの達成を目指し推進していく。

**問** 農業従事者の高齢化が進んでいく中で、事故への備えとして労災保険への加入を推進し、事故の発生による収入減少も補償対象となる収入保険への加入と青色申告等を推進し、保険への加入周知を図っていく考えは。

**答** 収入保険は、収入減少に対応した保険であるため、農家の経営安定のために加入促進を図っていく。新型コロナウイルスの影響を受けた青色申告者で令和3年、新規が継続で加入する農業者に10%を補助していく。

**その他の質問**

- ・遊休農地と有害鳥獣対策は
- ・高齢者への支援策は



**問** 米価の安定に向けて

**答** 飼料用米への転換推進する

石橋今朝夫  
議員  
(みらい創和会)

**問** 青色申告と収入保険加入の周知は

**答** 収入保険の保険料を補助していく

**問** 柳内2号線ではなく、柳内14号線をメインとし、白沢中、保育所英国庭園を通るルートにしてはどうか。延長は、事業費は、検討は。



**問** 柳内14号線の拡幅について

**答** 延長500m、事業費1億5千万円

菅野 健治  
議員  
(無所属)

**問** 人事異動アンケートについて

**答** 平成27年から全職員を対象に実施

**問** 職員の人事異動先の希望が多い部署及び業務について、どのように市当局では把握しているのか。

**答** また、理由について把握しているのか。

**答** 10月に実施しており、内容については職員の意向を総務で聴いており、希望先の答弁は控える。

ただ、年代と性別により希望する異動場所は変わっており、若い世代は行政の知識を吸収しながら、将来の業務を行う糧にしたいと考えている。

**その他の質問**

- ・コロナ禍の継続支援策と新たな独自支援策は
- ・2月の福島県沖地震による支援策の検討は



▲柳内14号線を拡幅するべき



▲目標達成のために食品ロスを減らそう



**問** ごみの減量化に向けて

**答** 食品ロス、無駄をなくそう！

円谷 長作  
議員  
(みらい創和会)

**問** SDGsの推進とゼロカーボンを目指し、異常気象の低減を図るためにも食品ロスを少なくする必要はある。平成28年度の廃棄される食品ロスは612万トン。化石燃料を使い、運搬し、焼却CO<sub>2</sub>を排出している。市の現状と対策は。

**答** 食品ロスは年間600万トン。本市の人口に換算すると一日当たり約4トンの食品が廃棄されている状況。各家庭へは無駄の抑制、事業者は需要に見合った販売等と消費者の意識改革が必要であると思う。広報紙等による啓蒙を図っていく。

**問** 令和元年東日本台風被災による住宅解体申込件数は、12月2日現在190件であり、解体が進み空き地が点在している。空き家対策と併せてまちづくりの中で検討するべきである。また、所有者不明の土地はどのくらいあるのか。

**答** 解体住宅所有者にアンケート調査をしている。その場所に住んで頂くのが大切である。アンケートがまとまり次第、関係部署と共有し来年度中に方向づけを出したい。令和2年度所有者不明は19件10万5940㎡、135筆である。

**その他の質問**

- ・新型コロナウイルス感染症対策について
- ・施策（予算編成）方針について



**問** 食育指導のアレルギー対応は

**答** 成長を見守り料理を工夫

遠藤 初実  
議員  
(志誠会)

**問** 子どもは感覚的な好き嫌いがあつたり、アレルギーで拒否する食べ物がある。新しい担当者や先生は、使命感で型にはまり、無理に食べさせてしまう傾向が。子どもたちのアレルギーのデータと対策は。

**答** 卵や牛乳、ナッツ、山芋、魚介類のアレルギーの子どもの現在45名。成長して自覚し、自然に解決するのを見守ることを基本にして、料理方法や味付けを工夫して食べってもらうように努力している。

**問** 食育指導の中の朝食について

**答** 生活リズムを整える指導を

**問** 消化器の目覚めは、脳よりも30分以上遅いと

**答** 早寝早起きでの朝食を推奨している。学校保健委員会という協議会があり、PTAの代表や保護者の協力のもと、お医者さんの知見をいただいている。それらを総合的に含めた指導をしている。

**問** 一日三食というスローガンとのバランスは。

**その他の質問**

- ・離乳食のあたえ方について



▲適切な食育指導を



## 問 新本宮駅建設費について

答 経費の節減に努めていきたい

馬場亨守  
議員  
(無所属)

問 ①建設費を圧縮する考えは。

答 当初計画では24億円最終30億円での市の負担は10億円である。富田駅の建設費は18億円で郡山市の負担は11億円である。  
②駐車場について、立体駐車場設置は。  
③駐輪場に屋根を設置する計画は。無料にして

問 ①工事費の増額は岩盤が出たためだが、少しでも工事費の負担が少なくなるよう、早期完成に向け協力していく。

答 ②国の認可を得て事業を進めているため、計画の変更はできない。  
③東側に1300台西側に1050台計2350台の駐輪場で屋根の整備もする。利用者は利用料を負担していただく。

問 10年後の財政計画について

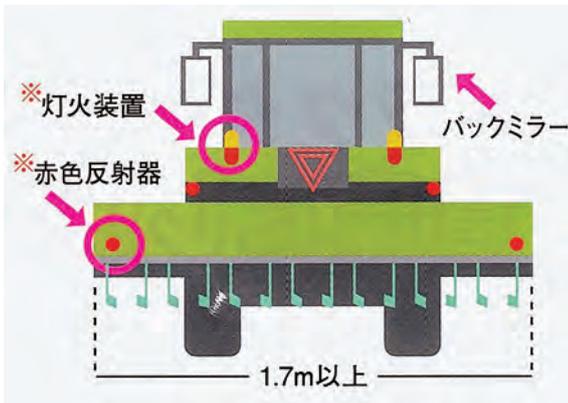
答 実質公債費比率11%の推計になる

問 ①令和12年に実質公債費比率が11%になる。現在より80億円市債が発行される。次世代に借金を残さない、世代間格差をなくするのが基本。考えは。  
②市道維持補修費は、10年間で6億4000万円の計画である。これでは金額が少ない、増額を。

答 ①主な要因は、東日本台風による災害復旧の市単独事業償還分、令和5年度からの工業団地借入金償還で2%の上昇。  
②道路の維持費は、財政計画の中で、必要箇所には有効な投資をしていく。



▲改修が進んでいる本宮駅



▲免許証取得に補助を



## 問 持続化給付金の確認文書の意図は

答 国の文書で恐怖や苦痛の考えない

渡辺 忠夫  
議員  
(日本共産党)

問 市長名で持続化給付金の確認文書の内容とその意図は何か。

答 同封文書で不正受給した者は詐欺罪に、10年以下の懲役刑になるとあり、あたくも不正受給者扱いに農家は驚き、心配や恐怖を感じたという。そう受け止められる考えはなかったのか。

問 持続化給付金の要件、事業活動にコロナの影響がないのに給付金の申請するようなことのないように注意喚起をした。

答 恐怖や精神的苦痛を与えるためではなく、市の解釈は加えず経産省のホームページ掲載内容をそのまま通知したものである。

## 問 農耕用運転免許証取得に補助を

答 補助金交付現段階では考えていない

問 このほど、国土交通省が農耕トラクターに関する道路運送車両法の運用見直しで公道走行ができることに。

答 そのための免許が必要になり、大玉村では支援策として免許取得経費の5分の1以内の補助をしているが本市もしてはどうか。

問 トラクターでの公道走行が可能となり、市として運用見直しに伴い登録のある農業者に通知を行った。

答 研修会の確保や研修会の開催について要望をお願いしている。補助金の交付については現段階では考えていない。

## その他の質問

- ・新型コロナ対策でのPCRの検査について
- ・子育て支援として保護者の負担の軽減について

## 「市議会アンケート」 ご協力をお願い

日頃より、本市議会運営に対しご理解ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、例年開催している「市民との意見交換会」につきまして、新型コロナウイルス感染症の感染状況が落ち着いておらず、開催できる状況にありません。

しかしながら、市民の皆様のご意見をお伺いする機会といたしまして「市議会アンケート」を実施させていただき、より良い議会運営に活かしていきたいと考えておりますので、ご協力くださいますよう、よろしくお願いいたします。

アンケートの詳しい内容や回答方法は別紙の「市議会アンケート」をご覧ください。

多くのご意見をお待ちしております。

事務担当：本宮市議会事務局

TEL 24-5435

## 議会のインターネット 中継が始まります！

6月定例会より議会のインターネット中継が開始されます。

ご視聴は本宮市議会ホームページからできますのでぜひご覧ください。



▲公費解体による空き地

**問** 商工業・サービス業の振興において、新規事業を考えている方、個人的で新たな発想の事業・商売、サービス業に対しての支援や、空き店舗対策の考えは。

**答** 商工会や金融機関などと連携を図りながら、創業新事業者の創出に向けた総合的な支援を行う環境の整備に努める。店舗リニューアルの事業の需要はある。所有者や事業者の意向を確認し、新たな制度を立ち上げたい。

**問** 台風19号で被害を受けた家屋の公費解体事業により空き地が増えているが、市は空き地の活用には把握しているのか。

**答** 現在、家屋を解体した人を対象に生活再建状況や敷地活用についてのアンケート調査を行っている。結果を市の施策の参考として生かす方針。

**問** 台風被害による空き地対策は

**答** 調査をして、施策の参考にする。

**問** 商工業が維持していける支援策は

**答** 環境の整備に努める必要がある

三瓶 裕司  
議員  
(新風会)

### その他の質問

- ・台風19号による河川改修の進捗状況は
- ・中学校における「部活動指導員」について

# 声



3月定例会を傍聴された方は10人でした。今回はその中から佐藤カネ子さん(和田字大木内)に傍聴の感想をお聞きしました。

## 議会傍聴感想

私は議会の傍聴が大好きです。一般質問は、何回か聴いています。当初予算審査特別委員会の開催を知り、友達と傍聴席に着いて誰もいなかったため、ちょっと恥ずかしい気持ちでした。

委員長から質疑に入る旨諮られた。主に教育費(教育部門)の質疑だったので、内容が分かり理解できた。コロナ禍のためマスク姿のせいか、質問者と答弁者のマイクの使い方をもっと良くして頂いたらと思います。議員さんは良く地域の内容を確認しながら、質問をしていました。また、どの様な回答がされるのか、興味あって聞くことができました。今後の事業に期待します。

四月から機構改革が成されるようですが、議員の皆さんに市民の為に活躍して頂きたいと願っています。

佐藤 カネ子 さん



今号の表紙は、本宮第二中学校の新学期の様子です。ご協力ありがとうございました。



### 次回6月議会定例会は

**6月10日**に開会予定です。  
**請願・陳情**の締め切りは  
**5月31日(16時まで)**です。

※なお、正式な日程は議会運営委員会で決定します。

問い合わせ TEL24-5435

は、すぐそこに!

新しい生活様式

注意しながら 静かに過ごす

## あとがき

3月議会も新型コロナウイルス感染症防止対策をしながらの議会運営でしたが、今回は一般質問者数については制限なしで行い、11名が一般質問を行いました。市民の皆さんとの意見交換会もできずに来ましたが、今回アンケートを企画したので、議会だよりについてやご意見を沢山お寄せくださるようお願いいたします。

渡辺

発行責任者

議長 渡辺由紀雄  
 議 長

委員 三瓶 裕司  
 副委員長 齋藤 雅彦  
 委員 遠藤 初実  
 委員 菊田 広嗣  
 委員 石橋 今朝夫  
 委員 三瓶 幹夫  
 委員 渡辺 忠夫  
 委員 国分 勝広